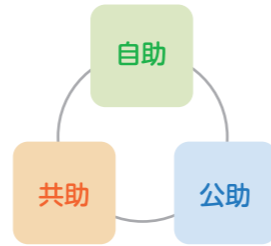


③日ごろから災害に備えておきましょう!

自助・共助・公助について

災害への備えは、自助・共助・公助の3つがあります。
大規模災害時は、消防や自衛隊などの公助だけでは迅速かつ十分な対応はできません。
まずは、自分の身は自分で守る「自助」、地域で互いに助け合う「共助」につなげる取り組みが大切です。



非常持出品の準備

いざというときに備えて、生活に必要なものは3日間分を目安として準備しておきましょう。

食品など

- 飲料水 (1人1日3Lを目安)
- 非常食 (缶詰、レトルト食品など)
- 携帯食 (チョコレート、飴など)



貴重品

- 現金、預金通帳
- 印鑑
- 健康保険証、免許証 など



衣類など

- 衣類 (厚手のものと薄手のもの)
- 下着類
- タオル、毛布、寝袋
- 雨具 など



救急・安全対策

- 常備薬 (胃腸薬、かぜ薬など)
- 持病がある方の薬
- 包帯、ガーゼ、絆創膏
- ヘルメット、防災ずきん
- ホイッスル など



日用品

- スマートフォン、ラジオ
- 懐中電灯、電池、ライター
- ティッシュ、ビニール袋
- ナイフ、缶切り、歯ブラシ
- モバイルバッテリー など



その他

- ほ乳びん、紙おむつ
- メガネ、入れ歯
- 感染症対策品 (マスク、消毒液、除菌シート、体温計) など



地震発生時には

地震発生



命を守る

- 「頭を保護する」
「大きな家具から離れる」
「丈夫な机の下に隠れる」など
落ち着いて身の安全を
最優先に行動する
- あわてて外へ飛び出さない

揺れがおさまったら



家族を守る

- ドアや窓を開けて逃げ道
を確保
- 火の元を確認、初期消火
- 足をケガしないように
靴をはく
- 非常持出品を用意
- 余震にも注意



地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオ等で情報を確認
- 電気のブレーカーを切り
ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊のおそれがあれば
避難

避難生活



助け合いの心で

- 協力して消火・救出活動
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所等では集団生活の
ルールを守る

大津市ハザードマップの配布について

大津市には土砂災害のおそれのある地域や、琵琶湖、大戸川、中小河川等により浸水する可能性のある地域が多数あります。
市では、このたび、滋賀県において土砂災害や河川などのハザード情報が大きく更新されたことから、皆様のお住まいの地域の危険箇所や避難所を確認し、日ごろから災害に備えていただけるよう、大津市ハザードマップ(2種類)を作成しました。

大雨等が予想される場合は、気象情報や大津市からの情報に注意し、命を守る行動をとりましょう。

※ハザードマップとは、災害の危険性がある箇所を地図上に色で示したマップです。

※掲載している危険箇所は、被害の可能性のあるおおむねの範囲をお知らせするものです。

「土砂・洪水ハザードマップ」～土砂災害や大河川の洪水を反映～

地図上で着色されている箇所が土砂災害や琵琶湖と大きな河川の洪水の危険性がある箇所です。



「土砂災害警戒区域」
土砂災害の危険性がある箇所

「土砂災害特別警戒区域」
特に土砂災害の危険性が高い箇所

「浸水想定区域(洪水)」
大きな河川の氾濫により浸水の危険性がある箇所

<対象>
琵琶湖、瀬田川、大戸川、草津川

「水害ハザードマップ」～中小河川や身近な水路の氾濫を反映～

地図上で着色されている箇所が洪水や中小河川などの内水氾濫の危険性がある箇所です。



「浸水想定区域(洪水+内水)」
大きな河川だけでなく、中小河川の氾濫や、身近な水路などの内水氾濫により、浸水の危険性がある箇所

ハザードマップでは浸水する深さ(最高想定)によって色が分かれています。

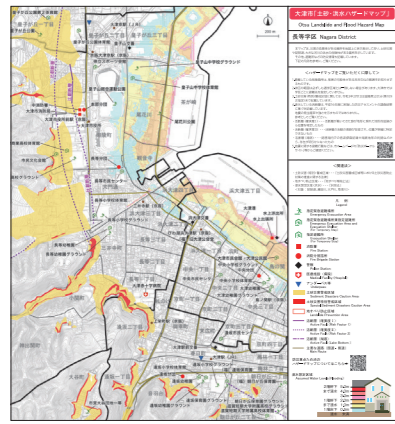
次ページからの内容をご確認いただき、マップを活用して災害に備えましょう。

大津市役所 危機・防災対策課 TEL:077-523-1234(代表) 令和4年3月

① ハザードマップを見て災害時の行動を確認しましょう！

災害が起こる前

マップで自宅が着色の場所にありますか？



日ごろから自宅周辺の危険性を確認し、災害時の行動を考えましょう。

はい

災害の危険性がある地域です。大雨時など災害の危険性が高まっている際には市からの避難情報に注意しましょう。

いいえ

着色されていない場所でも災害は起こる可能性があります。気象情報などを随時確認しておきましょう。

災害の危険性が高まってきたら

市からの避難情報を確認しましょう。

市からの避難情報を受け取る方法

●エリアメール、緊急速報メール
(携帯電話会社が市内の携帯電話に配信。一部対象外機種あり)

●大津市防災メール



●大津市防災ナビ



iPhone用



Android用

●テレビのdボタンでも確認できます



市の避難情報の内容

- 日時
- 災害の種類(土砂災害、河川の氾濫等)
- 避難情報の種類(高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)
- 対象区域等(○○学区の土砂災害警戒区域等)
- 開設する指定避難所(○○市民センター、○○小学校体育館等)

ハザードマップで着色された箇所は災害の危険性があります。市から避難情報が発表された場合、自宅が避難の対象区域に入っていますか？

いいえ

すぐに避難する必要はありませんが、避難できるように準備しておきましょう。ただし、身の危険を感じる場合はすぐに避難しましょう。

はい

危険性が高まり避難が必要です

市の指定する避難所に避難

(すべての避難所が同時に開設するわけではありません)

安全な場所に住む親戚や知人宅などに避難

自宅の安全な場所に避難

※浸水の危険があっても2階など浸水する深さよりも高いところにいるなどの場合、自宅に留まり安全確保することも可能です。

② 風水害時の情報を確認しましょう！

市から発表される避難情報

市では、主に小学校区域ごとに対象区域を決めて、区域内の土砂災害警戒区域等にお住まいの方に対し、避難情報を発表します。

【警戒レベル3】 高齢者等避難	避難に時間を要する方は危険な場所から避難
【警戒レベル4】 避難指示	危険な場所から全員避難
【警戒レベル5】 緊急安全確保	命の危険直ちに安全確保

< 避難時のポイント >

- 警戒レベル3「高齢者等避難」の段階で、避難に時間を要する方は避難開始
- 水害が起こるタイミングに注意

① 大雨時
ないし直後

身近な河川などから水があふれ出す

② 大雨後

大規模な河川氾濫や、土砂災害のおそれ

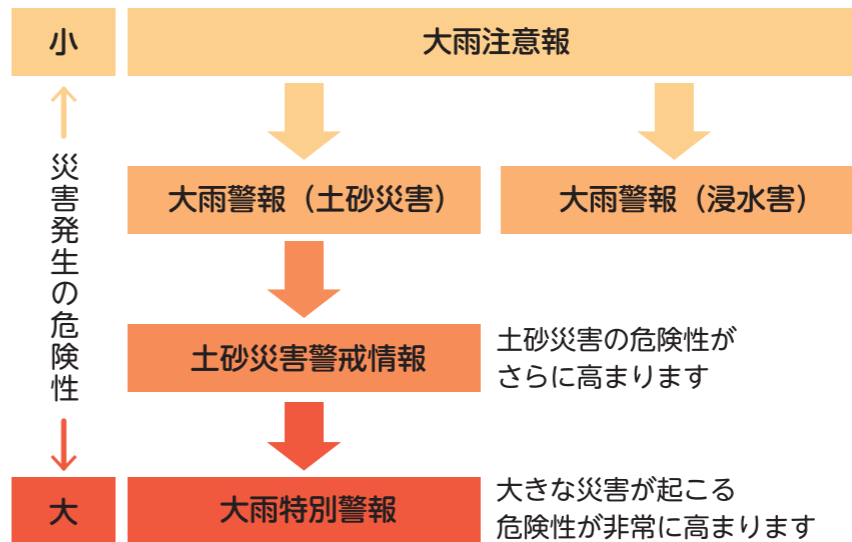
③ 数日後

琵琶湖の水位上昇や、引き続き土砂災害に注意

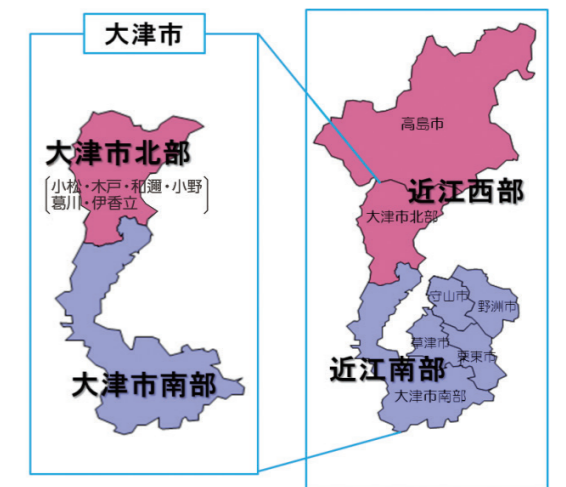
気象情報の「警戒レベル相当」と避難情報の「警戒レベル」は異なります

気象庁から発表される気象情報

段階に応じて発表される気象情報を確認しましょう。



◆大津市における気象警報発表区分



南北に長い地形のため、気象警報の発表区分が市内でも異なります

雨の強さと降り方

1時間あたりに降る雨量の目安を確認しましょう。

1時間雨量 50mm を超えたら注意！

10~20mm未満 やや強い雨	20~30mm未満 強い雨	30~50mm未満 激しい雨	50~90mm未満 非常に激しい雨	90mm以上 猛烈な雨
・ザーザー降る ・長く続くと注意	・どしゃ降り ・側溝、下水があふれ 小規模な崖崩れが発生し始める	・バケツをひっくり返したように降る ・崖崩れが起きやすくなる	・滝のように降る ・土石流が起きやすくなる	・息苦しくなるような圧迫感がある ・大規模な災害が発生するおそれ